

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																							
国際理容美容専門学校	昭51年6月1日	工藤 佑輝	〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-17-12 (電話) 03-3803-6696																							
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																							
学校法人国際共立学園	昭41年6月8日	和田 美義	〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-17-12 (電話) 03-3803-6696																							
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																						
衛生	理容美容専門課程	美容科	平成6年文部科学省 告示第84号	—																						
学科の目的	美容師としての職業に必要な実践的かつ専門的知識・技術技能を修得させるとともに、職業教育を通して人間性豊かな資質の高い職業人を育成することを目的としている																									
認定年月日	平成26年3月31日																									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																			
2年	2,010	390	300	1,320																						
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
320人	153人	0人	9人	20人	29人																					
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 前期後期それぞれの期末にて学科・実技の定期試験を行い、60点以上合格にて評価を行う																						
長期休み	■学年始:4月1日～4月4日 ■夏 季:7月25日～8月24日 ■冬 季:12月26日～1月10日 ■学年末:3月26日～3月31日		卒業・進級 条件	卒業・進級それぞれの認定会議において、①学科・実技試験全科目の合格 ②90%以上の出席 の条件で全学年・生徒を判定し、校長が決定を行う																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者、成績の伸び悩みなどからの兆候が見られた学生生徒に対応。担任が主体であるが、学科長、教頭などが協力し適時行う。		課外活動	■課外活動の種類 ボランティア、クラブ活動など。 ■サークル活動: 有																						
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生) 美容室(Neolive、UNIX、VISAGE、peek-a-boo等) 美容関連業界(ビューマインド、BUNNY LASH)など ■就職指導内容 各学生生徒の希望(勤務地、福利厚生、仕事内容など)に対し担任、就職指導部が個別指導を行い、この二重の支援体制により学生が自信を持って就職活動に臨める環境を作りだしている ■卒業生数 98 人 ■就職希望者数 96 人 ■就職者数 96 人 ■就職率 100 % ■卒業生に占める就職者の割合 98.0 % ■その他 ・進学者数: 1人 ・その他: 1人 (令和 2 年度卒業生に関する 令和3年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th><th>種</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容師免許</td><td>②</td><td>97人</td><td>92人</td></tr> <tr> <td>ビジネス能力ジョブパス</td><td>③</td><td>75人</td><td>73人</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	美容師免許	②	97人	92人	ビジネス能力ジョブパス	③	75人	73人								
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																							
美容師免許	②	97人	92人																							
ビジネス能力ジョブパス	③	75人	73人																							
中途退学 の現状	■中途退学者 5 名 令和2年4月1日時点において、在学者168名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者163名(令和3年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中途防止・中退者支援のための取組 担任、学科長による個別面談の実施に加え、各種原因によるメンタルストレスまたは疾病の可能性に対して、学内相談窓口を設置し支援体制を構築している。 また、経済的困難を抱える学生にたいしては、各種奨学金制度を整備している。 進路変更希望者については、担任が本人と面談し、希望・適性について聞き取りを行ったうえで、希望する進路に向けての進学先紹介等を行っている。		■中退率 3 %																							
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 授業料減免制度:学修意欲がありながら、経済的に困難である学生を支援する制度 1年次の授業料のみを半額に減額 学業優秀者給付金制度:ビューティクリエイターとして将来の目的意識が極めて明確で意志強固と認められ、資格取得を目指す者が対象 後援会より年間2名、校友会より年間1名に給付する。それぞれ授業料と相殺する。 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 名 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																									
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: (有) 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL) 令和3年3月、特定非営利活動法人 私立専門学校等評価研究機構より令和2年度の学校運営内容について審査を受け、結果について下記URLのとおり評価を受ける。 https://www.riyoubiyou.kokusai-kyouritsu.ac.jp/daisansha/																									
当該学科の ホームページ URL	美容科URL: https://www.riyoubiyou.kokusai-kyouritsu.ac.jp/course_biyou/																									

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- (1)業界ニーズや社会需要に適した高度なカリキュラムを開発し授業へ反映
- (2)様々なステークホルダーからの意見を教育内容へ南栄
- (3)学園の教育内容の客観性の担保

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

複数学科設置している為、理容業界・美容業界・エステ業界・メイクネイル業界それぞれの業界の立場から、全体会において本校のカリキュラム方針等について審議頂き、各学科毎の分科会において、各業界の人材ニーズと学科カリキュラムの連動性を念頭に議論した後、次年度のカリキュラムに反映させる。また、机上の議論だけでなく、授業見学を実施することで、より現実的な教育課程を編成するように努めている

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和〇年〇月〇日現在

名 前	所 属	任期	種別
吉田 昌央	アメイジング・シェイヴィスト・アカデミア	令和3年6月14日～ 令和5年3月31日(2年)	①
吉田 三晃	Smile hair	令和3年6月14日～ 令和5年3月31日(2年)	①
石井 考治	ICHI	令和3年6月14日～ 令和5年3月31日(2年)	③
竹野内 宏明	Edge	令和3年6月14日～ 令和5年3月31日(2年)	①
堀口 麻里	一般社団法人CIDESCO-NIPPON	令和3年6月14日～ 令和5年3月31日(2年)	①
永井 良幸	TBCグループ株式会社	令和3年6月14日～ 令和5年3月31日(2年)	③
石川 真樹	アム・デザイナーズプレイス	令和3年6月14日～ 令和5年3月31日(2年)	③
池田 昌央	学校法人国際共立学園 国際理容美容専門学校	令和3年6月14日～ 令和5年3月31日(2年)	③
阿見 芳明	学校法人国際共立学園 国際理容美容専門学校	令和3年6月14日～ 令和5年3月31日(2年)	③
境田 三由紀	学校法人国際共立学園 国際理容美容専門学校	令和3年6月14日～ 令和5年3月31日(2年)	③
齋藤 彩子	学校法人国際共立学園 国際理容美容専門学校	令和3年6月14日～ 令和5年3月31日(2年)	③
高橋 正行	学校法人国際共立学園 国際理容美容専門学校	令和3年6月14日～ 令和5年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、6月)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年6月30日 17:00～19:00

第2回 令和3年2月24日 17:00～19:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

業界離職率を低減させるために、業界(特に卒業生)からの講話の回数を増やしてみようか

➡授業アンケートを実施し、今ある授業それぞれの連携を強化すべく棚卸しと授業内容の見直しを図った。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

顧客ニーズの多様化に対応すべく、業態も複合化している中において、現場から求められている知識・技術・接客とは何かを現場の具体的な事例を踏まえて、教えて頂く

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

基礎技術を修得した後に、業界の最前線で活躍する著名な方を講師に迎え、現場の応用技術や接客技術指導を受け、最先端の生きた技術の修得を目指す。また、第一線で活躍されている講師の価値感や人間性を肌で触れ、学生自身のキャリアプランの一助とする。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
高度総合理容技術実習 ヘアカットting (ブローカット)	理容技術の中で、短髪型と称される基本技術『ブローカット』を学び、職業の現場で実践力・応用力を習得する	理容室ベル 東京ヘアデザイナークラブ理事 岡田 嘉崇 氏
高度総合理容技術実習 ヘアセッティング (展示授業)	業界で活躍する理容師の技術を通し、理容のすばらしさ、将来性を伝え、職業の現場での実践力・応用力を習得する	KINOSHITA GAIEN EAST STREET (キノシタ ガイエン イースト ストリート) 木下 裕章 氏
運営管理 (マーケティング)	店舗を経営する上で大切な要素4つを理解しながら、マーケティングフローチャートの内容を踏まえて、仮想店舗を作る。4名単位のグループで話し合いながら、経営を疑似体験する。経営に関わる多くの先生の授業を意識しながら「お金」の感覚が分かる、まとめの授業を行う。今期は仮店舗づくりを強化するため、序盤の講義を圧縮する	国際理容協会羽鳥 和彦 氏
高度総合理容技術実習 毛髪科学	理容師として毛髪の役割、成分と構造、毛髪の仕組みをサイクルなどを理解すると共に、頭髮化粧品扱い方なども学び、技術の裏付けとなる知識を習得することを目的としている。	有限会社エアー立花 正雄 氏

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

教職員は業務遂行に必要な知識及び技能を習得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質を向上させ、もって教職員の活性化に資するものとし、国際理容美容専門学校の向上を図ることを目的としている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「接遇マナー研修」(連携企業等:ビジネスマナー研究所株式会社)

期間:令和2年3月29日(月)～31日(水) 対象:全教職員

内容:学生用接客マナーテキスト作成に向け、掲載内容に対する認識の深化と習熟を目的とする

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「夏季研修」(連携企業等:)

期間:令和2年8月17日(月) 対象:全教職員

内容:「高大接続改革」を意識した教育内容の進化を目的とした各学科のカリキュラムツリー・マップの作成

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「定例職員研修」(連携企業等:KDDIまとめてオフィス株式会社)

期間:令和4年1月21日(金) 対象:全教職員

内容:ICT教育の成功事例を知り、本校のオンデマンド授業を深化させる

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「夏季研修」(連携企業等:)

期間:令和3年8月20日(金)、21日(土) 対象:全教職員

内容:(1) 専門学校におけるシラバスに基づく教育活動の事例紹介、(2) 各学科の教育事業計画作成

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己評価の結果を本校の関係者により組織した学校関係者評価委員会に報告し、意見を聴きその意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	・理念・目的・育成人材像は定められているか
(2)学校運営	・理念に沿った運営方針を定めているか
(3)教育活動	・理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか
(4)学修成果	・就職率の向上が図られているか
(5)学生支援	・就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか
(6)教育環境	・教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか
(7)学生の受入れ募集	・高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか
(8)財務	・学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか
(9)法令等の遵守	・法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか
(10)社会貢献・地域貢献	・学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
(11)国際交流	・国際交流に取り組んでいるか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

年度始めに昨年度の教育内容や事業内容について、評価頂いた内容・結果に対して改善案を提示し前期修了時の委員会において取組み・改善状況を委員会に報告し、最終的には、年明けの委員会において、次年度計画を踏まえ最終報告している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年5月29日現在

名 前	所 属	任期	種別
小林 美貴	都立芝商業高等学校	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	教育機関
阿部 浩	埼玉県立幸手桜高等学校	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	教育機関
門脇 一浩	元千葉県私立学校教員	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	教育機関
阿久津 幸司	KOJI 進路研究所	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	教育機関
富岡 啓夫	東京都美容生活衛生同業組合 荒川支部	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	業界役員 地域
立花 正雄	ミューズ研究所	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	卒業生 地域
間仁田 厚	ヘアサロンマニタ	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	保護者 地域
堀口 麻里	CIDESCO NIPPON	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	業界役員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL:https://www.riyoubiyou.kokusai-kyouritsu.ac.jp/wp-content/themes/kokusai/pdf/evaluation_R03.pdf?%3E

公表時期: 令和3年5月14日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関し、あらゆるステークホルダーに情報を提供することで、学校運営の透明性を図ると共に、本校に対する理解を一層深めて頂くことを目的としている

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の教育・人材養成の目標・校長名・所在地・連絡先・学校の沿革、歴史
(2)各学科等の教育	入学者に関する受入方針(AP)・入学者数、収容定員、在学生数カリキュラム
(3)教職員	教員数(職名別)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組み・就職支援等への取組支援
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況・課外活動
(6)学生の生活支援	学生支援への取組状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取り扱い・活用できる経済的支援措置の内容等
(8)学校の財務	学校の財務(貸借対照表・収支計算書)
(9)学校評価	自己評価学校関係者評価の結果・評価結果を踏まえた改善方策
(10)国際連携の状況	留学生受入に関する項目
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: https://www.riyoubiyou.kokusai-kyouritsu.ac.jp/wp-content/themes/kokusai/pdf/evaluation_R02.pdf?%3E

授業科目等の概要

理容美容専門課程 美容科																
分類				授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	講 義						演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
1	○			関係法規・制度	法律に興味を持ち、自らの職業が法律とどのように関わっているか、重要性を知ってもらう	1 通 2 通	30	1	○			○			○	
2	○			衛生管理	(1) 病気の原因を疫学的に理解する (2) 病原菌の性質と感染経路を理解する・啓蒙活動の準備もする (3) 消毒法と微生物の性質を知り、適切な消毒法を選択できるようにする (4) 公衆衛生の歩みを学び保健所の役割や美容業との関連を学ぶ	1 通 2 通	90	3	○			○			○	
3	○			保健	(1) 人体の解剖（特に胸部～頭部、顔にかけて）構造、仕組み、働きを理解する (2) 皮膚科学の基礎的知識の習得と疾患や手入れ法などを学ぶ	1 通 2 通	90	3	○			○			○	
4	○			香粧品化学	(1) ビューティークリエイターとして仕事をする上で必要な香粧品化学の基礎知識を学ぶ (2) 香粧品の性状や分類、安全性などを学び、美容師として必要な基礎知識を学ぶ	1 通 2 通	60	2	○			○			○	
5	○			文化論	(1) 日本・西洋のヘア・メイク・服装の移り変わりを学ぶ (2) デッサンを通して描画力、観察力、集中力を身につけ・さらに高める	1 後 2 通	60	2	○			○			○	
6	○			技術理論	(1) 美容技術理論の基礎的理解 (2) 美容技術の基礎をとなる理論の復習をし、国家試験合格レベルまでの知識習得を目指す	1 通 2 通	150	5		○		○		○		
7	○			運営管理	(1) 経営者の考え方や果たす責任・役割を学び、働くうえで求められることを学ぶ (2) 経済実態を計数で把握できる技術の習得 (3) 美容師として、技術提供の場である店舗の魅力と価値および演出手法を学ぶ	1 通 2 前	30	1	○			○		○	○	○
8	○			美容実習	(1) 各技術を通して基本姿勢と基本技術を習得する (2) 応用技術を習得し、今後の就職活動等につなげる	1 通 2 通	900	30			○	○		○		
9				芸術・ファッション	(1) 色の違いを知る・色を考える・美容と色彩の関係を学ぶ (2) 色彩の基礎からのヘアカラーへの繋がり の理解と色をイメージする力を養う (3) ファッションコーディネートの基本原理を学び、美容業におけるトータルコーディネイトの方法を学ぶ (4) マーケティングの一部、「広告活動」の重要性を理解。本講義では、今話題のサービスやヒット商品を取り上げ、そのヒット要因を解説、一方では、今社会が抱えている問題にスポットを当て、その解決策をグループで議論、発想力と伝える力を学ぶ	1 後 2 通	60	2		○		○			○	

10		○	表現技術	(1) 社会人として必要なコミュニケーションツールである、言葉づかい、電話応対など表現のスキルを上げる (2) PC操作に必要な知識を身につけると同時に、プレゼンテーションツールとしてソフトが使えるようになる (3) 美容サロンのシチュエーションで、ボキャブラリの学習を主体とした基礎的英会話を学び、将来に役立てる	1 通 2 前	60	2		○		○			○	
11		○	ビジネスマインド	卒業後の人生や仕事、働く意味について学び、期待される社会人・職業人として必要な自立するためのマナーやルールを学ぶ	1 通	30	1	○			○		○		
12		○	高度総合美容技術理論	サロン実務において必要な知識の習得	1 後 2 後	30	1		○		○		○		
13		○	高度総合美容技術実習	(1) 各技術を通して基本姿勢と基本技術を習得する (2) 基本技術を踏まえた応用力を養う	1 後 2 前	420	14			○	○		○		○
14															
合計				14科目		2010単位時間(67単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
定期考査の学科試験・実技試験ともに60点以上、出席率90%に合格ラインを設定している。それに満たない場合は、追試もしくは補講、または、留年となる。卒業と進級に関しては、認定会議を行い、校長が最終決定をする。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。